

ひろば大代

NO.190

大代公民館

平成七年度

公民館事業計画について

大代公民館

今年度は前回号に掲載しました目標課題を実践することです。

〔重点事業〕

一、老人の福祉対策として

(1) 独居老人宅を慰問する(毎月実施)

(2) ふれあいコミュニティセンターの建設計画を推進(夏期までに計画案を策定)

二、若者の定住対策

(1) 若者の生活相談(農業後継者その他の相談)

他の相談)

(2) 高山文化の杜づくり(「若者の文化の館」づくり策定(年度内))

三、町おこし施策

(1) 都市交流会十回記念事業の促進

(大代高山会主催による「戦没者追悼会」開催)

(2) イベントの考案、実践(田植囃子

神楽、盆踊等)

(3) 地場産業の振興(そば造り奨励)

四、郷土愛の醸成

(1) 文化財の保存保護(山辺神社の「

しだれ桜」指定申請)

(2) 伝統芸能の指導拡大(田植囃子、

神楽、盆踊保存会結成)

五、明るい町づくり推進

(1) 「戦時体験記」編集発行

(2) 花いっぱい運動の継続(「町も人も花いっぱい」をスローガンとする)

本年度も精いっぱい頑張りますので皆様方の御協力と御支援をお願い申し上げます。

初めてのバス通学

上市 中二 後藤貴子



私が大田第三中学校へ、通い始めてから一カ月がたちます。この一カ月はあつという間に過ぎました。

学校にはすぐに慣れたものの、バス通学には少し時間がかかりました。大代中学生の時は七時半に起きていたの、今度七時十三分のバスに乗るのは

大変なことでした。でも今はきちんと六時に起きれるようになり、バス通学にも慣れてきました。

私はいつも永井絵理さんと乗っています。行きも帰りも約二十分の間、二人で昨日のテレビの話や、学校での出来事などを話しています。

しかし、バス通学にはもう一つ大変なことがあります。それは朝、バスから降りることです。朝は高校生もたくさん乗ってくるので席に座っている私たちは、降りるのがいつも大変です。雨の日は、さらにこむのでいつもの倍大変です。

そのかわり、帰りはとてもすいています。部活のため帰りは六時八分のバスでいつも帰ります。部活で疲れているにもかかわらず、私たちは二十分間ずーっと話をしています。話をしていると二十分なんて、あつという間です。この二十分間は本当に楽しい時間です。きつとみんなも同じだと思えます。

あと二年間、この生活が続きますがバスの乗り方もきちんとして、他の方にめいわくがかからないようにしたいと思えます。

運転手の方にも、いつもさわやかなあ
いさつをしたいと思います。

—大代の古跡をたずねて—

小路の石橋（上市の巻）

植松 渡 吉正

県道上市から木村酒造の店の間を植
松經由で小路へ入って行くと川上方面
への近道となり、昔から「しょう路」
という呼び名で親しまれて現在でもこ
の小路を通う人たちが多くいます。

石橋はこの小路の木村酒造の酒蔵前
の小川に架っていて、下駄履きで歩く
とともに懐かしい音がしてきます。

この石橋は昭和四十年頃までは植松
の市道に架っていました。それは小屋
敷と拙宅の車庫がある北側から向こう
岸は、旧湊屋（現在空地）と植松の長
屋で旧田中若松さん宅（現在空家）の
方へ木製の欄干付きで、とても風情の
ある橋でした。

子供の頃は夏の夕方になると、行水
した肌に浴衣を着せてもらって下駄を
履いて夕食後また遊びに出掛けたもの
です。下駄で歩くとカラン、ココンと

いい音がして、今思うととても懐かし
く思います。橋の欄干へは大人たちも
やって来て遅くまで夕涼みを楽しんで
いました。その当時は大家村の最もよ
き時代で明治、大正、昭和初期のロマ
ンを彷彿します。

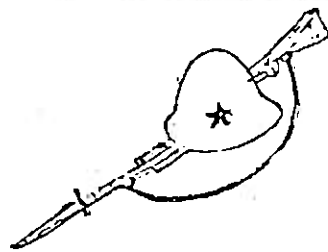
この石橋が植松に架ったのは「寛永
七年（一六三〇）八月廿一日」で、今
から三百六十五年も前のことです。

このことは石清水八幡宮の棟札（市
指定文化財）の中から四番目に古い寛
永七年菊月（九月）二十三日の棟札に
記事として載せてあります。「植松林
市石橋、川上より三日程五百人程の人
夫」と墨書してあります。現在林市の
石橋はどこにあるのか不明ですが、そ
の時の石橋が現在も小路の橋として活
用されていることは実にすばらしい事
だと思えます。

三百六十五年間も立派な橋の役目を
果しているこの石橋は大代の立派な文
化財です。

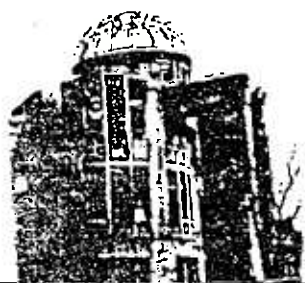
石橋は両端に綱を掛けたと思われる
直径二七センチの穴があり、長さは三
メートル、横幅は一・二メートル
厚みは一・二センチです。

戦時体験記



「ソロモン海戦」

下飯谷 高村春美



昭和十六年十二月八日、大東亜戦争
勃発、国を挙げての大戦となり、海軍
に志願（十七才）昭和十七年五月一日
、広島大竹海兵団（第二期生）へ入団
厳しい新兵教育で猛訓練を受けた。

同八月十五日、水上機母艦千代田に
配属され、探照灯（サーチライト）の
照射や通信の伝令の役割など多忙な日
々を送る。

又航海中は艦橋に備付の双眼鏡で右
舷と左舷に分かれ、交代で見張りもす
るれい明と薄暮時は特に厳しかった。

九月上旬、連合艦隊付属出撃命令が
下り大いに緊張した。戦艦を旗艦に巡

洋艦、駆逐艦、水上機母艦、外輸送船団等が編成され、呉軍港より豊後水道を経て太平洋に出て、一路南方方面トラック島を目指す。

赤道を越えてショートランド島沖にて第三次ソロモン海戦に参加する。敵部隊との直接交戦はなかったが、数度に亘り目に見えざる敵潜水艦の魚雷攻撃を受ける。白波を蹴立て襲って来る魚雷を「右舵、左舵」と避け乍ら我が艦からも爆雷を投下する。(之は潜水艦攻撃するものである。)

千代田は水上機母艦でありながら飛行機の搭載はなく、船倉には特殊潜行艇が何機か搭載された魚雷艇であった。搭乗員は士官一名、下士官一名で敵艦に近づき魚雷を発射する戦法で再び生還することは難しいと言われていた。

昭和十八年二月、母艦千代田は予備艦となり横須賀港へ帰還せるも長い航海や戦傷の為、遂に退役となる。

同月呉海軍警備隊付を命じられ、同六月横須賀海軍警備隊付拝命。同年十月第八期普通科砲術練習生(陸戦班)として千葉県館山砲術学校へ入校、三カ月で陸戦教育を卒業、左腕に桜のマー

ク(特技章)を受賞。嬉しくて心はずむ思いであった。

同十九年一月佐伯防備隊付に任命、更に三月十七日第四十一警備隊(市野隊)へと配属され、同月南方方面に出撃の為、木更津沖を輸送船バタバヤ丸にて南下、数日後サイパン島に上陸、出撃準備。六月十一日更に転進の為、サイパン島発(奇しくもそれは同島が玉碎する前々日の事であり、幸運に恵まれた事を今更不思議に思う。)

輸送船、廣順丸、武島丸と二班に分かれ、グアム島に向う途中、敵艦載機グラマン二十機余りの襲撃を受けた。廣順丸の装備は対空用二十五ミリ二連双機銃一機だけで遮二無二攻撃をかけた。乍ら突込んで来る。銃弾は「ヒューン、キューン」と甲板にはね返る。銃の指揮役であったが、射手負傷の為これに替わって懸命な射撃、足での引き金、俯仰、旋回、照準も出来ずに三千発、余り無我夢中で乱射した。敵機も炎上し損害も与えたが、味方戦友も多数の犠牲者が出た。約二十分懸命の交戦で敵機は去って行った。犠牲者の姿を見て戦争って息が震える、と戦友ともろ

もろ語る。

同十八日グアム島到着、早速陣地構築(二十五ミリ機銃)同月第四十六警備隊付を命じられる。負傷者はバラオ島病院へ海防艦にてヤップ島へ転進、バラバットに上陸、陣地構築掘り等を行う。敵機B29に依る爆弾投下、艦載機による機銃掃射、連続した艦砲射撃「ヒューヒュー」と不気味な唸り、大きな地響き、身の震える思い十日間位続いた恐怖の毎日であった。

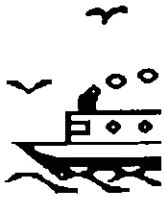
B29の編隊に陸軍の高射砲、海軍の高角砲等之を迎撃する、海軍機零戦も高度を上昇、待機して散子爆弾を敵機上で破裂せしむる様子も目のあたりに見る(散子爆弾は空中で破裂する爆弾である。)-「戦いは敵地でやれ。味方の地上でやるものではない」よくこんな言葉を聞いたものだった。

戦いの都度、爆風や爆撃で味方の陣地は破壊され、椰子の木に至る迄みな折れて焼けてしまい、食糧はなくなるばかりで海迄荒らされてしまい、僅かに残った現地地「タロ芋」を取り、飢を凌ぎ、敗戦の惨めさをしみじみ感じた。

制空権、制海権を取られてしまいうかうかと出て歩く事さえ出来ない。でも生きる為にさつま芋を作り、木の芽、草の葉、小魚を取り何でも食べられるものは採り命をつないでいく毎日であった。栄養失調や胃腸障害で戦病死した者は大多数であった。帰国までの五カ月間、遂に米食には一度もありませんでした。

アメリカの兵隊が上陸して来た。その中の一人に九州生まれの二世がいた。「自分はアメリカ海兵隊に志願して来た」と語る。仲間同志だったのにと、血で血の争う誠に皮肉な巡り合わせであった。

二度と戦争のない平和な世の中である事を願うものである。
二十年十二月九日南洋群島ヤップ島より駆逐艦「楠」で浦賀に帰着。二十年十二月十七日海軍一曹解員、故郷八代村に帰省。



大代町交通安全協会

からのおしらせ

交通安全協会々長 市原仁郎

春の全国交通安全運動が五月十一日より二十日迄展開されますが、前日の十日に波根町の農大前広場にて、テント村の開設と安全塔の除幕式が行われました。

席上、平成六年度下半期の無事故・無違反運動で大代町は山間部第二位に輝きました。今後共会員の皆さんの協力と努力により、記録を伸ばしていきたいと思ひます。

※先日、「ひろば大代」を読まれた東京の御手洗朋子さんからメッセージが届きました。

統合の記事 十一人に夢託す
校章は 新緑の山と胸に納む

★——★ おしらせ ——★

◎関西高山会総会出席者募集!

日時 六月十一日(日)

午前十一時より

(約四時間)
会場 大阪市北区万歳町
(浪速ビル9F)

中華料理店「北京」

☎〇六一三二二八一七一

(地下鉄中崎町3番出口、梅田東モータープール付近)

※振るってのご参加をお待ち致しております。(申込は公民館へお早目に)

5月行事

- ◆6日(土) 民生委員会
- ◆6日(土) 交通安全協会
- ◆9日(火) 編集委員会
- ◆11日(木) 幼稚園母の会
- ◆13日(土) 大代町体育協会
- ◆15日(月) ツベルクリン反応
- ◆17日(月) J A地区総代会
- ◆17日(水) B C G
- ◆21日(日) 福祉弁当
- ◆22日(月) 連合自治会

